

水広公園 管理運営方針

パークマネジメントプラン

公園の特性を生かした公園経営の推進

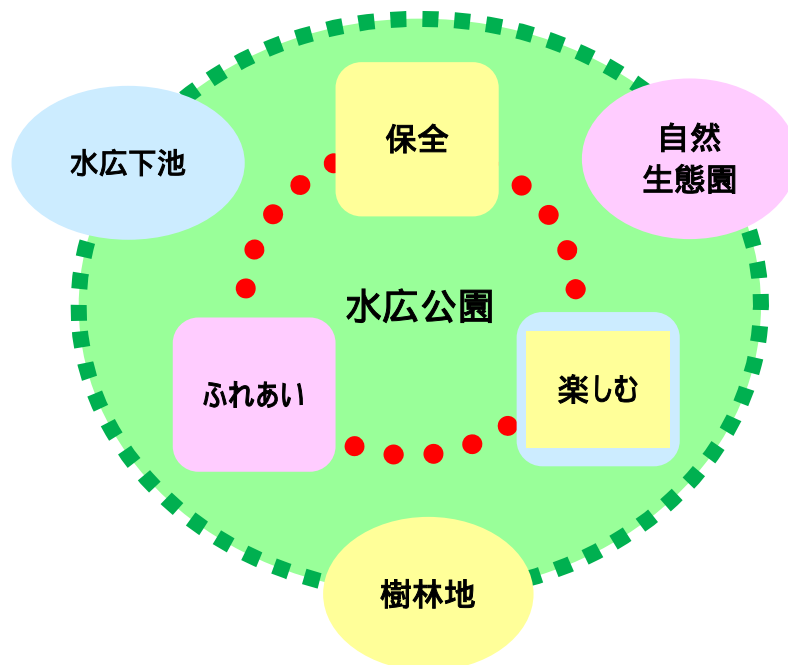
平成 29 年 3 月

名古屋市緑政土木局

水広公園のめざす公園像

残された自然を保全し、ふれあい、楽しむ公園

- ・ 郊外に残された貴重な自然を保全する公園
- ・ 自然観察や魚釣り、野鳥観察や自然散策など、自然にふれあうことのできる公園
- ・ 自然にふれあい季節の変化を感じながら、地域住民の憩いの場として楽しめる公園



目次

基本事項

1. 公園の概要

1-1. 水広公園の概要	3
(1) 概要	3
(2) 行政計画上の位置づけおよび指定等	6
1-2. 沿革	9
1-3. 立地環境	10
(1) 自然状況	10
(2) 周辺状況	10
1-4. 整備時の方針および内容	12
(1) 整備当初の基本方針	12
1-5. 施設状況	14
(1) 施設概要	14
(2) 利用時間	16
(3) 景観	16
1-6. 利用状況	17
(1) 利用者の意見	17
(2) 利用・運営上の課題	19
(3) 協働	20
1-7. 公園の基本的な性格・役割	21
(1) 特長の分析	21
(2) 公園経営の視点から見た現況評価	22

2. めざすべき姿と取り組みの方針

2-1. 公園がめざすべき姿	23
(1) めざす公園像	23
(2) 水広公園のイメージ	23
2-2. 取り組みの方針	24
(1) 公園経営の目標設定	24
(2) ゾーン別特性	25
(3) 維持管理の方針	26
(4) 景観形成の方針	26
(5) 運営管理の方針	26
(6) 連携・協働の方針	27
(7) 改修・再整備の方針	27
(8) 災害対応の方針	27

公園管理運営方針 基本事項

公園管理運営方針(パークマネジメントプラン)は、平成 24 年 6 月に公表された「公園経営基本方針」及び、平成 25 年 7 月に公表された「公園経営事業展開プラン」に基づき、今後 10 年程度を計画期間として公園の管理運営の方針等を定めるものです。

この方針では、水広公園の性格、役割、立地条件や公園としてのあゆみ、利用者の動向などを踏まえて、めざす公園像を設定し、その実現にあたっての取り組みの方針を定めました。

管理者、利用者、事業者等は、このプランで示す各方針に即して、本公園における管理運営や利活用の促進を、それぞれの立場で行っていくものとします。

なお、本方針については、マネジメントサイクルで行う評価の結果や、周辺の都市基盤整備状況、技術動向、財政見通しなど社会経済情勢の変化等により対応が必要となった場合には、適宜見直しを行っていくものとします。

「名古屋市の公園経営」とは...

従来の行政主導による維持管理中心の公園管理から脱却し、利用者志向、規制緩和等による市民・事業者の参画の拡大、多様な資金調達とサービスへの還元、経営改善手法の導入など、公園の利活用の発想により公園の経営資源を最大限に活用していく新たな管理運営の考え方です。

名古屋市においては、市民ニーズを考慮した公園経営を第一とし、公園を「市民の資産」としてとらえ、多くの人々の関わりの中で、市民全体が公園経営の成果を享受できるように「管理する資産」から「経営する資産」へと公園の管理運営のあり方を大きく変革していくものです。

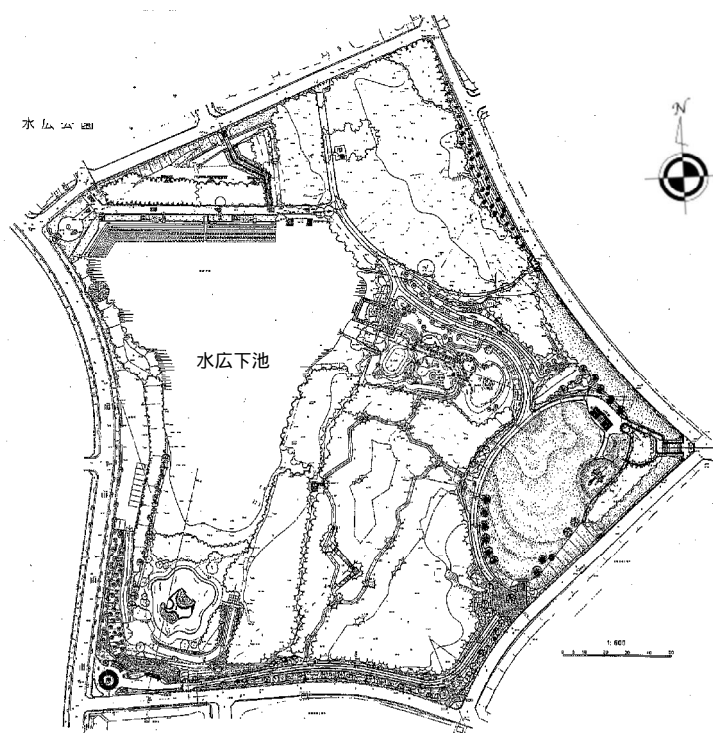


■ 市民・事業者・行政の Win-Win の関係

1-1.水広公園の概要

(1)概要

開園年度	平成 15 年 (2003 年)
都市公園法による設置	平成 15 年 4 月 1 日
公園面積	5.79ha
所在地	名古屋市緑区水広三丁目
公園種別	地区公園
都市計画決定	年度 昭和 40 年 1 月 27 日 番号 4・4・20 号 (地区公園)
	面積 5.80ha
土地取得方法	土地地区画整理事業



水広公園平面図

水広下池	池面積 約 21,700m ²	洪水調整池 (扇川流域)
	利水 C ・ 治水 A ・ 環境 A	



水広公園航空写真

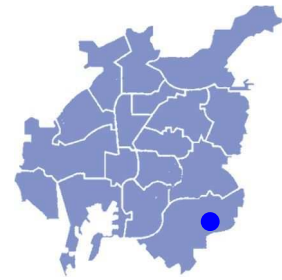
(「名古屋市都市計画写真地図(平成 22 年撮影)」を加工して使用)

 = 水広公園(都市公園区域)

 = 水広公園(都市計画区域)

【位置】

水広公園は、緑区の東端に位置し、豊明市との市境付近に位置する地区公園である。周辺は土地区画整理事業が進んできており、住宅が多い。



水広公園位置図

【交通】

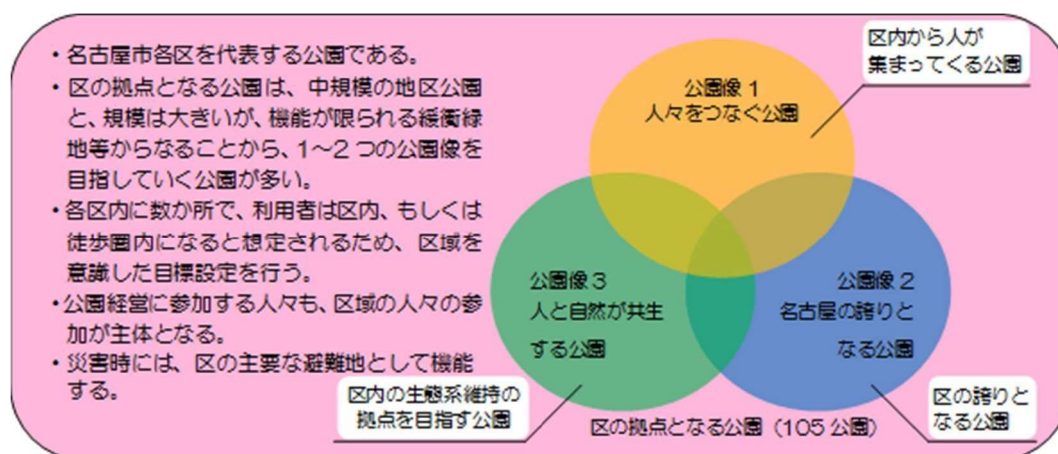
名古屋市営バス 幹鳴子 1「水広公園」バス停下車 すぐ
幹鳴子 1・徳重巡回・相生 11・徳重 14
「水広公園南」バス停より 徒歩 1 分
幹鳴子 1・徳重巡回・相生 11・徳重 14
「大清水」バス停より 徒歩 3 分

(2)行政計画上の位置づけおよび指定等

【区の拠点となる公園】

水広公園は、名古屋市公園経営事業展開プランの中で、公園の面積規模や公園利用者の広がり considering 「広域の拠点となる公園」「区の拠点となる公園」「地域の身近な公園」の3つに分類された公園体系のうち、「区の拠点となる公園」として位置づけられている。

「区の拠点となる公園」とは、各区でおよそ数か所ある地区公園及び河川敷緑地など（緩衝緑地、広場公園、都市緑地、緑道を含む）である。



名古屋市公園経営事業展開プラン（H25.7）

【広域避難地】

水広公園は、震災に強いまちづくり方針で、広域避難地に指定されている。

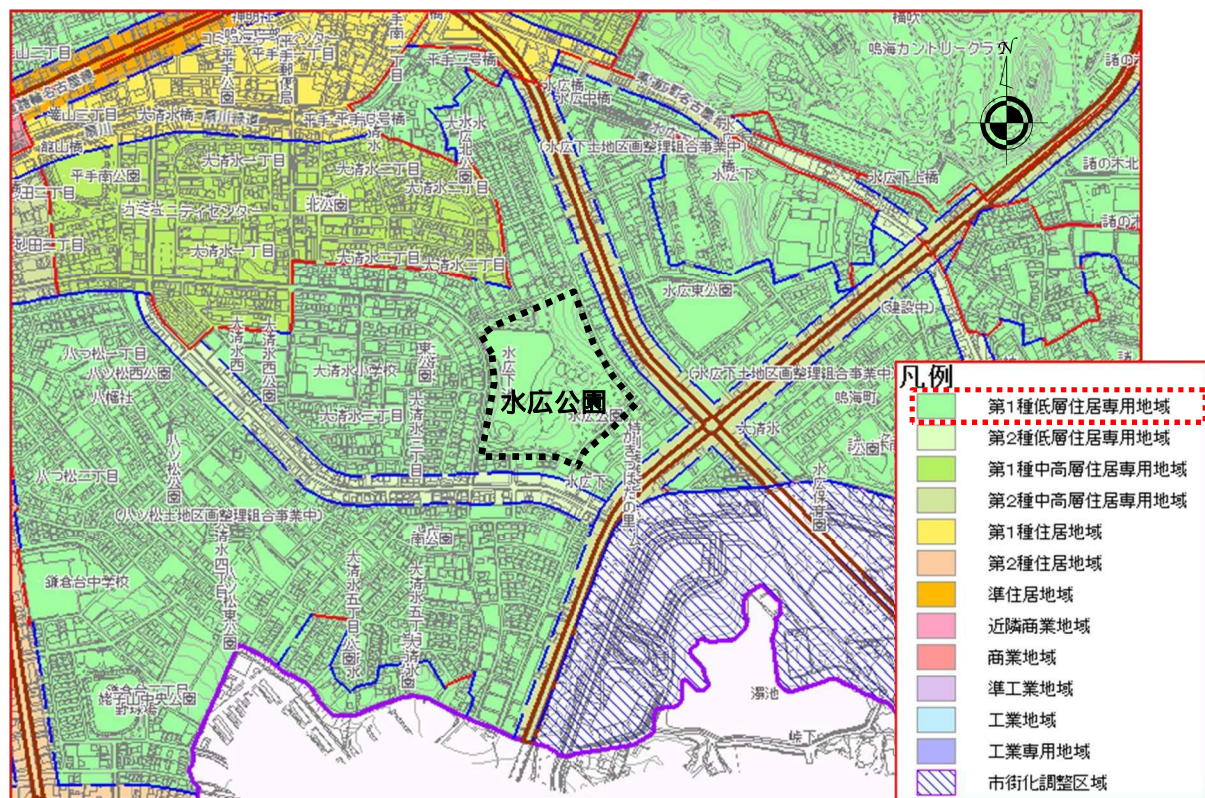
広域避難地とは、地域防災計画で位置づけている広域避難場所の規模・配置等の考え方を原則としつつ、それに加えて災害時における高齢者等の歩行限界距離とされている2km 以内に到達できるように配置されている。

また、広域避難地は、将来的に広域避難場所の条件を満たす整備がされた場合は、市防災会議で諮り、広域避難場所に指定される。

【用途地域】

水広公園は、都市計画法による第1種低層住居専用地域内に位置し、公園周囲も同地域に指定されている。

公園周辺は、土地区画整理事業により宅地化が進んでおり、今後、水広公園の利用者の増加及び年齢層の広がりが予想される。



用途地域図

(「名古屋市都市計画基本図(平成 22 年)」を加工して使用)

【防火地域・準防火地域】

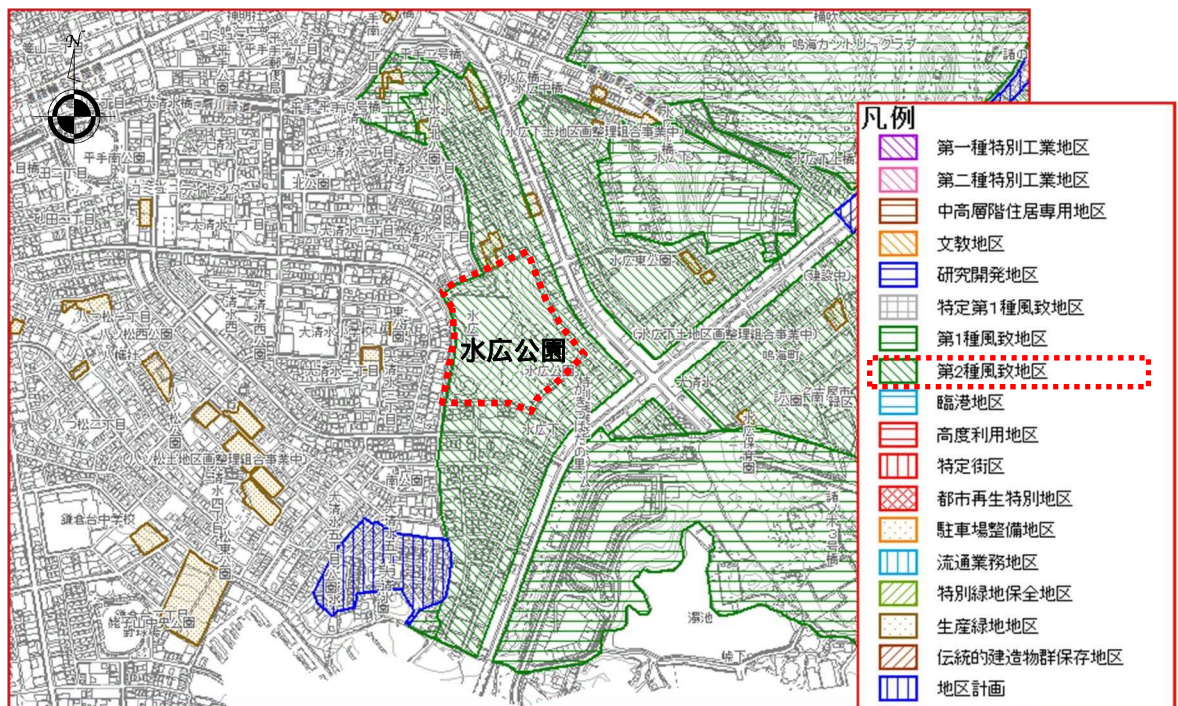
水広公園は、防火地域及び準防火地域のどちらにも該当していない。

【風致地区】

水広公園は、第2種風致地区(勅使池風致地区)に指定されている。

風致地区は、都市計画で定める地域地区の一つで、都市における良好な自然的景観を維持するために、特に必要な区域に指定されている。この地区では、風致の維持に影響を及ぼす一定の行為に対して、制限を定めている。

公園周囲の宅地化が進む中で、水広公園は自然的景観を維持・保全する重要な位置づけになっている。



風致地区図

(「名古屋市都市計画基本図(平成22年)」を加工して使用)

【名古屋市野鳥保護区】

水広公園は、水広下池一帯が名古屋市野鳥保護区に指定されている。

名古屋市では野鳥の観察に適した場所として17か所の野鳥保護区を指定し、野鳥保護への配慮を促しており、水広下池はそのうちの一つである。

1-2.沿革

昭和 40 年（1965 年）1 月 27 日	都市計画決定(計画面積 5.80ha)
平成 7 年（1995 年）～平成 11 年（1998 年）	敷地造成工事・公園築造工事
平成 9 年（1997 年）3 月 31 日	平手南部土地区画整理組合より管理引継(0.28ha)
平成 11 年（1999 年）4 月 1 日	水広公園公園愛護会設立
平成 15 年（2003 年）4 月 1 日	都市公園設置(5.79ha)
平成 15 年（2003 年）5 月 16 日	水広下土地区画整理組合より管理引継(5.50ha)
平成 15 年（2003 年）9 月 27 日	平手南部土地区画整理組合より換地処分公告
平成 26 年（2014 年）11 月 11 日	公園の所在地の名称変更 (緑区鳴海町字水広下、字大清水→緑区水広三丁目)

1-3.立地環境

(1)自然状況

水広公園は勅使ヶ池緑地の西側に位置する緑に囲まれた公園である。園内の水広下池一帯が「名古屋市野鳥保護区」に指定され、野鳥が多く見られる公園でもある。

園内の林はコナラ、アカマツがほとんどで、所々竹林やハンノキ林もみられる。冬にはドングリの実が多く落ちている。水広公園は現存した雑木林とため池（洪水調整池）を活かして整備されているため、緑や生物の多い公園であり、園内には「魚釣り場」「野鳥保護区」「自然生態園」などのエリアがある。毎月第4土曜日に、自然に関する市民活動団体が観察を行っている。

池にはサギ、カイツブリが年中見られ、春や秋の渡りの時期にはジョウビタキなどが見られる。冬季にはツグミ類がよく見られ、時にはトラツグミを見ることもある。それらの野鳥を観察するため池の南側には「観察舎」が設けられている。

〔水広公園で見られる主な野鳥〕

通年・・・カイツブリ、カラス、キジバト、コゲラ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ムクドリ
春・・・サギ類、ジョウビタキ、ツバメ、モズ
夏・・・アオサギ、ツバメ、エゾビタキ
秋・・・キセキレイ、マガモ、メジロ、ルリビタキ
冬・・・ウグイス、ツグミ類、ハクセキレイ、マガモ、メジロ

(2)周辺状況

水広公園は、緑区の東側の市境に近い場所に位置する。公園周辺は土地区画整理事業が進んでおり、住宅が多いほか、中規模店舗も増えてきている。

周辺には、公園東側の市境には愛知用水に沿うように勅使ヶ池緑地があり、さらにその東側(豊明市側)には農業用ため池である豊明濁池や藤田保健衛生大学・同大学病院がある。公園北東方向には鳴海カントリークラブ(ゴルフ場)、南方向にはJRA中京競馬場がある。

交通のアクセスは、公園周辺には熊野豊明線と、名古屋市と豊明市を結ぶ県道阿野名古屋線、平手豊明線（笠寺緑線）、敷田大久伝線（県道新田名古屋線）などの路線が通っているほか、公園周辺には市営バス「水広公園」,「水広公園南」,「大清水」の各バス停がある。



周辺状況図



バス停位置図面

「水広公園」
「水広公園南」
「大清水」

1-4. 整備時の方針および内容

(1) 整備当初の基本方針

水広下池をはじめ雑木林、竹林、草地などが分布し変化に富んだもともとの地形・植生を生かし、基本計画が策定された。

《水広公園基本計画》（平成 7 年 3 月名古屋市農政緑地局）

計画テーマ

「人と自然の共生を目指した自然生態園の創出」

整備基本方針

- ・ 動植物の生息地、生育地の環境を保全した上で、自然生態園として利用者が鑑賞、観察できるよう整備を図る。
- ・ 水広下池の持つ治水機能を損うことの無い施設整備を行う。
- ・ 地区公園として幅広い利用形態に対応する多目的な空間を創出する。
- ・ 樹林地、湿地、水際環境などの優れた自然環境を存続させるための積極的な働きかけ（ビオトープ空間の創出）を行う。

自然生態系保全に対する考え方

- ・ 保全の必要な区域を定め、保護保全を図りながら、同時に生態観察の場として活用する。
- ・ 動植物の孤立化を避けるため、樹林地のネットワーク化を図る。

人の利用範囲

- ・ 自然環境を鑑賞、観察するための最低限のルートを設け、これを利用することによって、保全の必要な区域に利用者が立入ることができる形態とする。
- ・ 既設域の一部を除き、園内を周回できる形態とする。

基本計画策定にあたっては、以下の計画、資料集を参考としている。

《名古屋市河川等環境整備基本計画》（平成元年 2 月名古屋市土木局河川部計画課）

水辺環境を市民が親しみやすく、快適性の高いものとして整備するための基本方針を策定することにより、「ゆとりとうるおいのあるまち」名古屋の実現に資することを目的としたもの。その中で水広下池の環境整備計画として以下の方針がうたわれている。

- ・ 土地区画整理事業による住環境の向上に対応して水質の保全を図る。
- ・ 水面を積極的に活用した整備を図る。

《名古屋市都市緑化推進計画》（平成 2 年 3 月名古屋市農政緑地局施設部緑化推進課）

21 世紀名古屋の緑の都市像「ひと・緑息づく、ふれあいのまち」を緑化推進の基本コンセプトに、その実現を目指す都市緑化推進計画である。

この中で、ため池の保全に関して以下の事業内容がうたわれている。

< 事業内容 >

- ・ 「雨に強いまち」へ向けて、ため池の治水機能の充実を図る。
- ・ 都市に残された貴重な水面として、積極的に環境面での整備等を行い、保全する。
- ・ 流入汚水対策など水質浄化に努める。
- ・ 水辺の楽しさを感じてもらえるような魚釣り池や親水池の整備を行う。

《名古屋市ため池資料集》（平成 5 年 3 月名古屋市ため池環境保全協議会）

名古屋市内のため池については昭和 49 年「名古屋市ため池環境協議会」が発足し、ため池の環境保全及び利用についての調査審議を行っている。

「名古屋市ため池資料集」では、水広下池及び計画地内に存在した周蔵池に関して以下の評価されている。

< 水広下池 >

利水... C (かんがい用としては不要)
治水... A (治水施設として将来とも必要)
環境... A (自然環境が極めて良く最も保存したい)

< 周蔵池 >

利水・治水・環境...すべて C (不要) 廃止

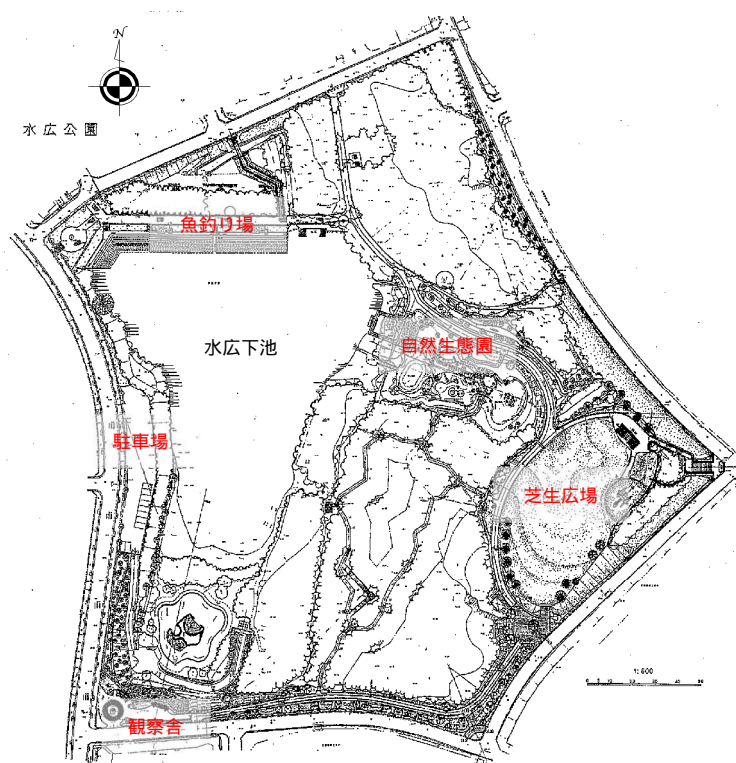
1-5.施設状況

(1)施設概要

水広公園は、公園西側にため池（洪水調整池）「水広下池」、公園の中には自然生態園をはじめとする樹林地があり野鳥が多く見られる。また、それらを生かした野鳥の観察舎や魚釣り場などエリアが整備されている。

なお、水広下池は、緑政土木局河川計画課により、ため池の水質調査が隔年で年４回行われている。

また、平成 28 年 9 月～11 月にかけて、環境局なごや生物多様性センターにより、環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室の「アカミミガメ対策推進プロジェクト」と連携して、ミシシippアカミミガメの捕獲調査が行われた。



水広公園平面図

【施設概要】

■ 自然生態園

自然生態系をモデル的に復元し、観察・体験することを通して自然への理解や自然環境の保全に対する意識を啓発する施設を目的として整備された。デッキからビオトープを観察する「観察ゾーン」、池（上池）の中に入って観察できる「体験ゾーン」が整備されている。



観察ゾーン



体験ゾーン

■ 観察舎(野鳥の観察舎)

水広下池一帯が「名古屋市野鳥保護区」に指定されており、多くの野鳥が見られる。

そのためそれらの野鳥を観察しやすくするため、池の南側に観察舎が設置されている。



観察舎

■ 魚釣り場

水広下池の北側に池に面した延長 91m の階段状の釣り場があり、魚釣り場として利用されている。

この魚釣り場は、整備時に「名古屋市河川等環境整備基本計画」に基づき、水広下池を親しみある水辺として有効に活用していくことを目的としている。



魚釣り場

■ 芝生広場

芝生広場は、整備前は周蔵池というため池であり、整備の際に廃止し、埋め立てられ、広場に整備された。

複合遊具などの遊具が設置されており、子供たちの利用があるほか、延長約 12m のパーゴラやベンチ、多目的トイレなどがあり、散歩の利用者などの利用が多い。



芝生広場

■ その他

寄附物件

- ・ 門柱 1 基（H26.9 寄附 公園南東入口）

(2) 利用時間

【駐車場】

駐車場名	面積	収容台数	供用期間	供用時間	料金
水広公園 駐車場	約 830 m ²	普通 28 台	通年	9:00 ~ 19:00	無料

(3) 景観

【公園内の優れた景観】

- ・ 特定のビューポイントはないが、公園全体に自然が多く、水広下池や樹林地、芝生広場など自然・緑を感じさせる箇所が複数ある。

1-6.利用状況

(1)利用者の意見

【ネット・モニターアンケート】

平成 22 年に行われた“ ネット・モニターアンケート ”によると、水広公園は「名古屋市内の公園で好きな公園」の 1 つに選ばれている。選ばれた主な理由は次のとおりである。

- ・ 観察池も有り、自然を感じることができる。
- ・ 遊具も有り、芝生広場があるのが良い。

【アンケート調査】

公園に関する意見・要望を、平成 28 年 11 月に現地にてアンケート及び聞き取り調査を行った。利用者の傾向と公園利用者の意見の聞き取り結果は、以下のとおりである。

■ 利用者の傾向

- ・ 「公園近隣住民」の利用率が約 6 割、公園近隣以外の緑区内在住の利用者と併せると、全体の 8 割を占めた。（残りの 2 割の大半は、魚釣り場を利用する市外（近隣都市）からの利用者であった）
- ・ 「ほぼ毎日」又は「週に数回」の利用者が、全体の約 7 割を占めた。
- ・ 公園を選んだ理由・利用の目的としては、「緑が多い」「近い」「静かで落ち着ける」「広い」など公園の特長を反映する内容が多かった。また「犬の散歩」と回答した利用者が約半数と多かった。

■ 意見・要望等

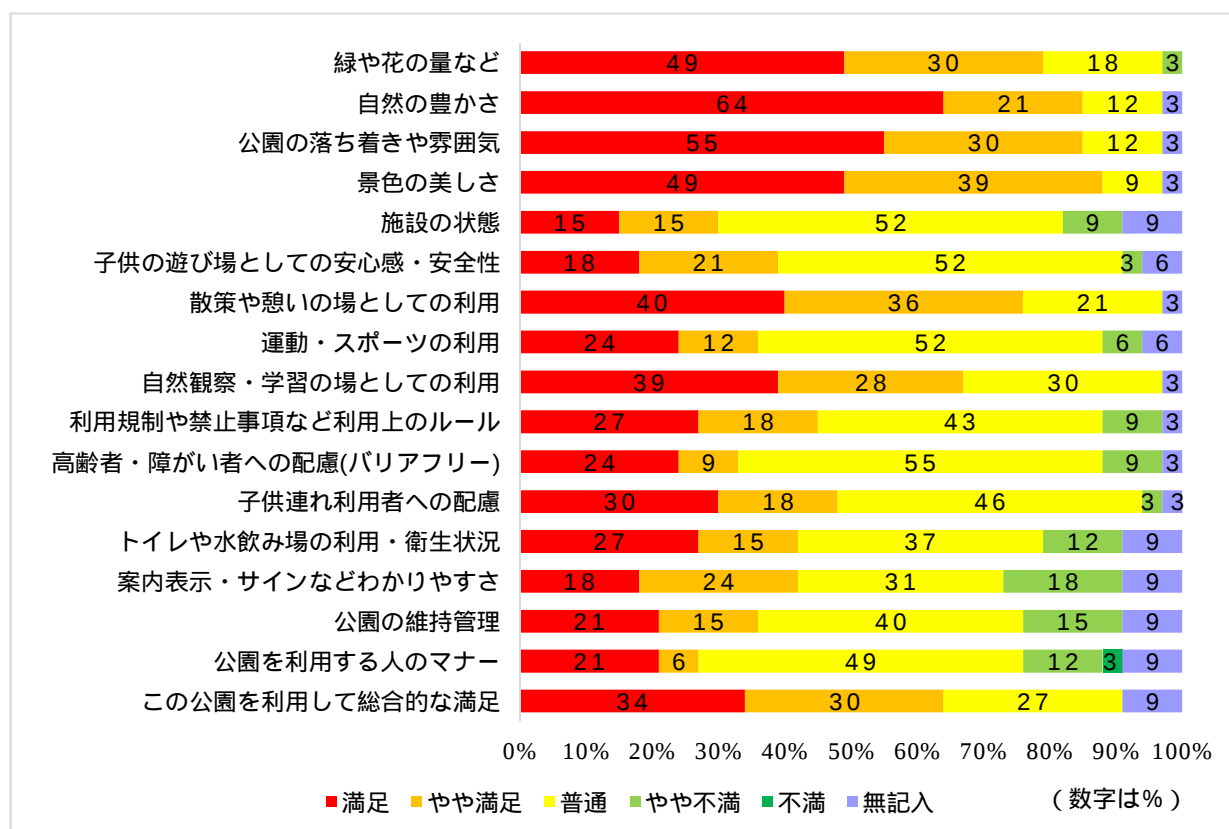
- ・ 花がもっとあると良い。
- ・ 池に魚をもっと入れてほしい。
- ・ 散歩している人が多いので、ベンチをもっと増やしてほしい。
- ・ 遊具をもう少し増やしてほしい。鉄棒・ブランコ・登り棒が欲しい。
- ・ 小さい子供が遊べる複合遊具が欲しい。
- ・ ターザン遊具が欲しい。
- ・ 生態園のヘドロが取れたらよい。
- ・ 公園内の木の名称が分かるよう樹名板があると嬉しい。
- ・ 木登りができるとよい。
- ・ ゴミを捨てないよう看板を立ててほしい。
- ・ 広場でフリーマーケットができると良い。
- ・ 草刈りをまめにやってほしい。

- ・ 森林の伐採をしてほしい。
- ・ 駐車場をもっと早く開けてほしい。
- ・ 遊具は増やさないでほしい。
- ・ 公園灯が少ない。夜暗い。
- ・ 犬を放している。
- ・ シンボルの桜の木があったが枯れて切られてしまった。木・植物の保護に関するアドバイザーが必要だと思う。
- ・ 木の枝が伸びてきても低木以外は年に数回も切る事はないとのことですが、伸びた枝が子供の伸長まで下りてきていると心配。
- ・ 保育園の子供たちや近所の幼児の遊び場として安全が確保されるようお願いする。
- ・ このまま管理していただけると嬉しい。
- ・ 良い公園だと思う。
- ・ 時期によって草がボウボウな時もありますが、四季を通じて癒される。
- ・ 冬になると野鳥の観察が一番楽しみ。
- ・ 大きな池に子供が入らないか心配。
- ・ ほかにない良い公園である。
- ・ 子供たちもたくさん遊んでおり、思い出の公園になるのでは。
- ・ 樹林地の中や池の周りのゴミが草の中にあり気になる。

■ 公園に関する評価

アンケート回答者には、公園に関する事項 17 項目を評価してもらった。

- ・ 「緑や花の量」「自然の豊かさ」「公園の落ち着きや雰囲気」「景色の美しさ」に関する項目で「満足」と評価した人が多かった。
- ・ 「トイレや水飲み場の利用・衛生状況」「案内表示・サインなどわかりやすさ」「公園の維持管理」に関しての「やや不満」の評価がほかの評価事項よりも多かった。
- ・ 少しではあるが、「公園を利用する人のマナー」に関して「不満」と感じている利用者もいることが分かった。



■ 水広公園に望まれる公園像

公園利用者が水広公園に今後望む公園像は、現在の水広公園の特長を反映した内容が多かった。

- ・ 自然や生き物とのふれあいの場としての公園
- ・ 快適で美しいまちづくりの拠点としての公園
- ・ 子供の遊び空間としての公園
- ・ 安らぎやくつろぎの空間としての公園
- ・ 多様な生物の生息の場としての公園
- ・ 景色を楽しめる場としての公園

(2) 利用・運営上の課題

- ・ 無料駐車場について、公園利用者以外の駐車が多い。
- ・ 施設・遊具が古い(老朽化)。
- ・ 樹木が成長し全体的に大きくなってきているため、時折倒木の発生がある。
- ・ 竹林の分布範囲が、水広下池南側(湿地植物育成区域)で広がりつつあり、湿地植物の生育及びその周辺環境に影響を与えている。

(3) 協働

【公園愛護会】

- ・ 地域住民で構成されている公園愛護会が、園内で園内清掃、除草等の活動をしている。

■活動状況

- ・ 月に 1 回の清掃活動

【その他の団体の活動】

- ・ 自然に関する市民活動団体（ネイチャークラブ東海）が毎月第 4 土曜日に自然観察を行っている。
- ・ なごや生物多様性保全活動協議会（なごや生物多様性センターが事務局。市民・専門家・行政で構成する協議会）が、平成 22 年に水広下池「名古屋ため池生き物いきいき計画事業」でため池の水質・生物調査を行った。（水広下池魚類等調査 8 月 21 日～23 日）

■市民活動団体の意見

市民活動団体へのアンケート及び聞き取り調査の結果は以下のとおりである。

1) 水広公園の魅力について

- ・ 整備で作った人工的な自然でなく、もともとある自然を活かした公園であること。
- ・ 水生の昆虫や野鳥・植物が多い、水辺の公園であること。
- ・ 自然を身近に観察できる場所が整備された公園であること。

2) 活動の課題

- ・ 行政や地元と市民活動団体との相互のコミュニケーション不足

3) 望まれる公園像について

- ・ 行政や地元と情報共有ができ、お互い協力して管理できる公園
- ・ 自然を活かした公園の利活用が盛んな公園
- ・ 地元の交流の場としての公園

1-7.公園の基本的な性格・役割

(1)特長の分析

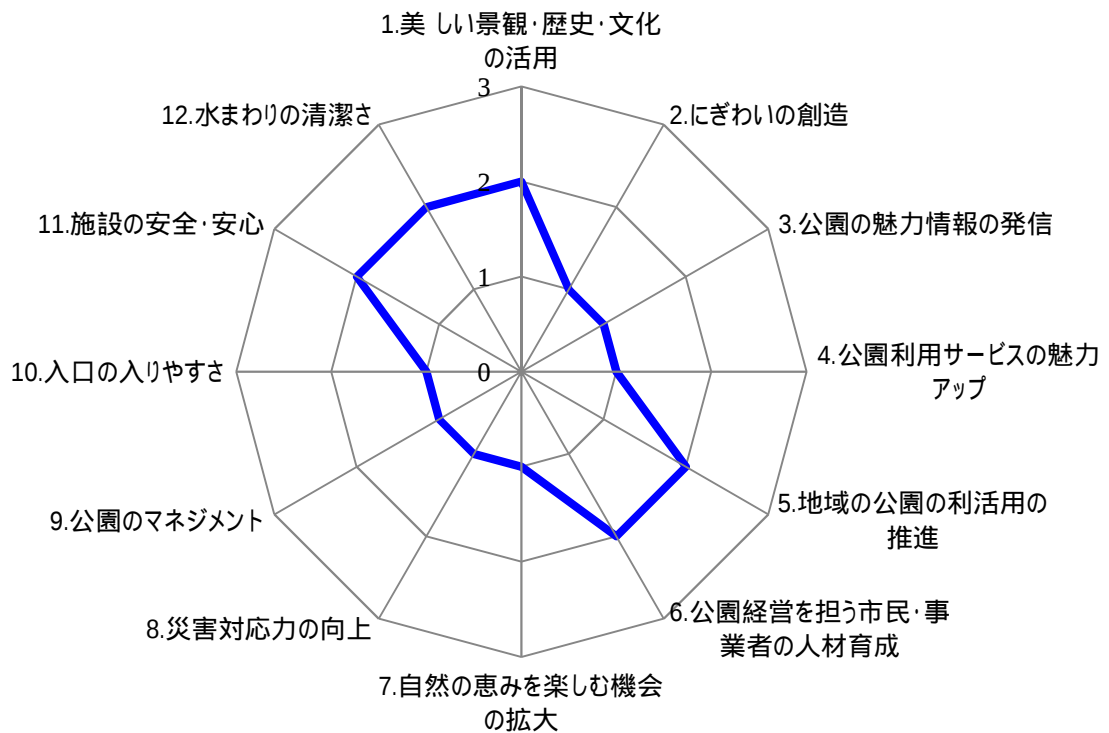
分析ポイント

歴史・文化	区画整理事業により名古屋市に用地が移管され、整備された。 自然を活かしたビオトープ公園として整備がされた。
景観	公園周辺は閑静な住宅街である。 水広下池や自然の樹林地などの貴重な自然環境を中心とした景観である。
にぎわい	にぎわいイベントの開催は無い。 静かな雰囲気や落ち着きなどについて、利用者評価が高いのも公園の特長である。
地域の庭	落ち着いた雰囲気であり、地域住民の散歩等での利用が多い。
自然の恵み	公園内に整備前から存在した樹林地が残されているため、緑が豊かである。
遊具	複合遊具など数は少ないが、ローラースベリ台など特徴的な遊具がある。 地域の子供たちによく利用されている。 遊具・施設は、部分的な老朽化が発生してきている。
スポーツ施設	有料スポーツ施設及びランニングコースは無い。 ただし、公園を周遊できる園路が整備されているため、ウォーキングでの利用者が多い。
災害対応力	広域避難地として位置づけられている。 池や樹林地などがあり、災害時の焼け止まりなど一定の効果が見込まれる。
活動団体	公園愛護会が活動をしているほか、自然に関する市民活動団体による自然観察会が定期的に行われている。
民間活力導入状況	自動販売機等の設置は無い。

(2) 公園経営の視点から見た現況評価

公園経営の現況評価	
評価基準	
評価0	-
評価1	部分的に不足している
評価2	標準的なレベルに達している
評価3	積極的に取り組んでいる、高い評価を得ている

公園の現況評価



- ・ 周囲が住宅地になっている中でも貴重な自然や緑が残されており、公園の景観を形成している。
- ・ 樹林地、湿地、水際環境などの優れた自然環境が存在している。
- ・ 地域住民による愛護会活動や、自然に関する市民活動団体の定期的な活動がある。
- ・ 地域住民の利用が多い。(犬の散歩など)

2.めざすべき姿と取り組みの方針

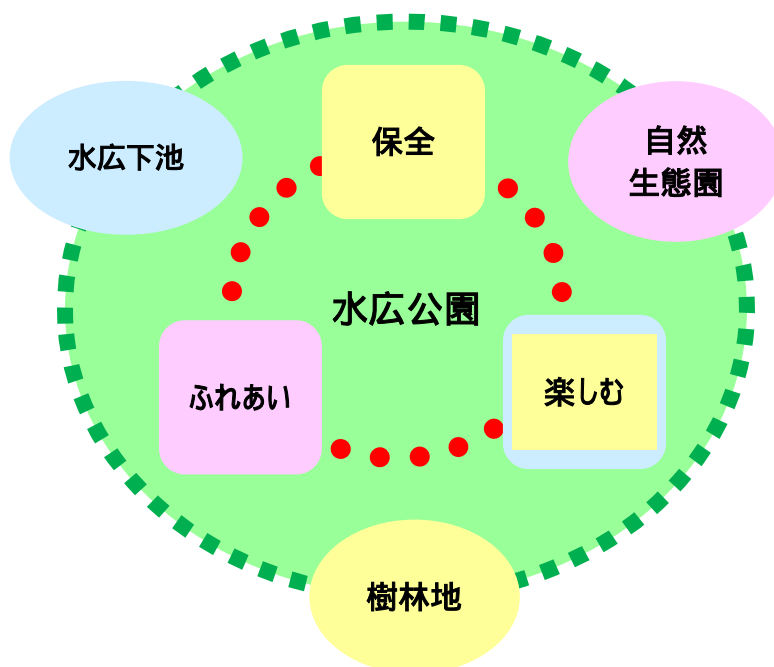
2- 1.公園がめざすべき姿

(1)めざす公園像

残された自然を保全し、ふれあい、楽しむ公園

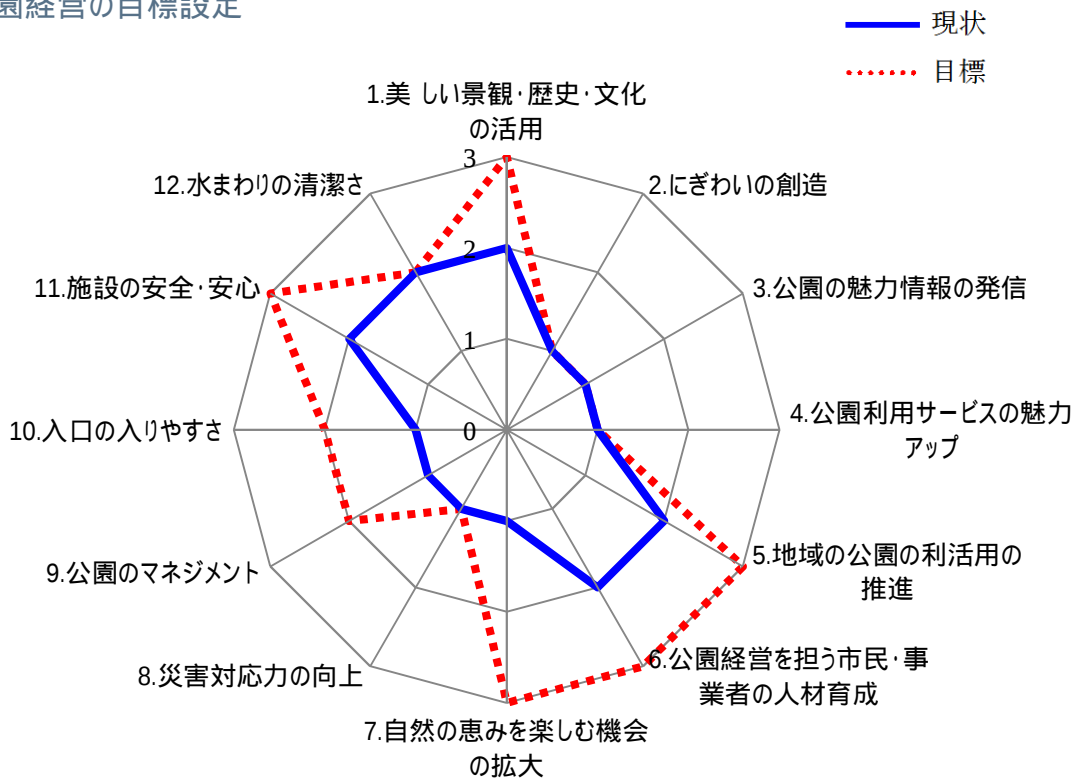
- ・ 郊外に残された貴重な自然を保全する公園
- ・ 自然観察や魚釣り、野鳥観察や自然散策など、自然にふれあうことのできる公園
- ・ 自然にふれあい季節の変化を感じながら、地域住民の憩いの場として楽しめる公園

(2)水広公園のイメージ



2-2.取り組みの方針

(1) 公園経営の目標設定

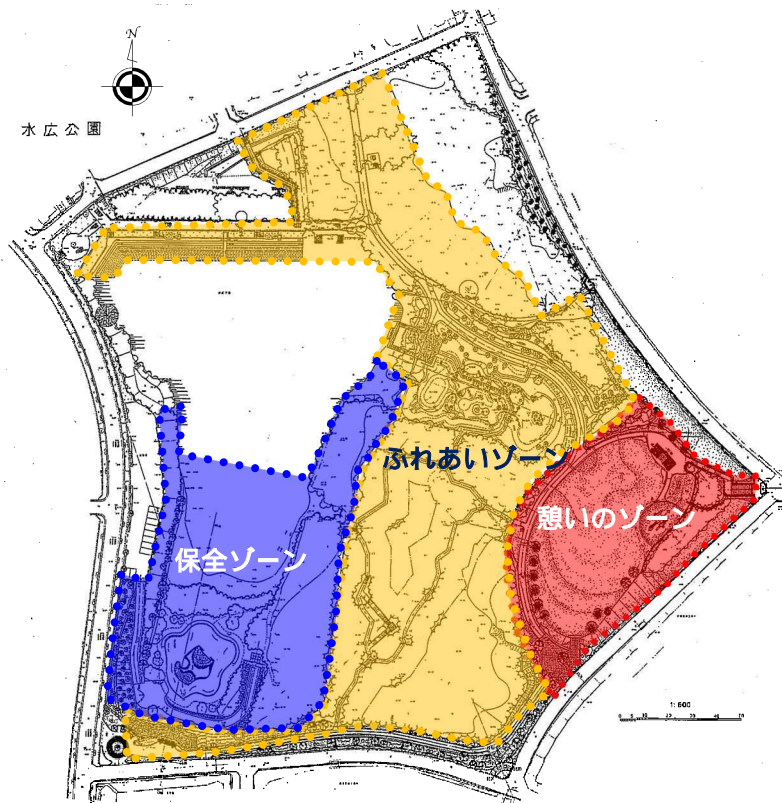


めざす公園像に取り組むための方針に沿って公園経営の目標を設定し、今後 10 年間に重点的に取り組む項目は、下表のとおりである。

めざす公園像のための 取り組み項目	景観 形成		運営 管理				連携 協働			維持 管理		
	1	10	2	3	7	9	4	5	6	8	11	12
めざす公園像の ための取り組み方												
郊外に残された貴重な自然を保全する公園	○				○							
自然観察や魚釣り、野鳥観察や自然散策など、自然にふれあうことのできる公園									○		○	
自然にふれあい季節の変化を感じながら、地域住民の憩いの場として楽しめる公園					○			○				

(2)ゾーン別特性

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、現況を踏まえ、機能・目的・自然的環境等により類型化したゾーン別特性は、以下のとおりである。



ゾーン区分図

【保全ゾーン】

水広下池南側と池周囲のエリアで、人の立ち入りができないようフェンスで囲われている。

調整池内という事もあり、地盤面の改変ができない区域であるため、水生の植物（湿地性植物）の保全場所、野鳥の産卵場所として最適な場所である。水生の動植物の生息区域として保全し、貴重な環境を残すエリアとする。

【ふれあいゾーン】

自然生態園、野鳥の観察舎、魚釣り場や樹林地散策路などがあり、自然と直接ふれあうことができるエリアである。今ある環境を良好に維持し、自然観察の行える場所として認知され、学習の場所として活用されるエリアとする。

【憩いのゾーン】

公園のエントランス及び遊戯・修景機能があるエリアで、約 4000 m²の芝生広場を中心に、複合遊具、パーゴラ、多目的トイレなどがあることから、利用者が散歩や休憩、遊戯を楽しむスペースとして活用されている。パーゴラやトイレ、ベンチなども有り、広い芝生広場もあることから、地域のイベントや交流などで利活用してもらえるエリアとする。

(3)維持管理の方針

園地や植物の管理については、現況の樹林地や植生を生かし、各植物の特性に配慮したうえで、適正で持続的な育成ができるよう、必要な管理を行う。

施設や設備は、利用者が快適かつ安全に利用できるよう、各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、常に清潔に保ち、機能を正常に保持するため、各施設に応じた管理計画を立て、点検・管理を行う。また、修繕に時間・費用を要する施設などについては、ゾーニングによる特長を生かしつつも、新たな方向性（廃止・別の施設に更新等）を検討する。このほか、寄附事業（なごやかベンチ・まごころ遊具）を活用し、施設の更新・充実を図る。

周辺地域との連携、市民・企業等とのパートナーシップを推進し、参加型で効率的な維持管理を目指す。

(4)景観形成の方針

水広公園は、緑豊かな樹林地や水広下池などが、季節を感じる景観を形成する重要な要素となっており、これらの美しい景観を維持するため、枯死木や風倒木を整理するなどの管理を行う。

また、各入口を明るく清潔に保ち、来園者が安心して公園を利用できるよう管理を行う。

(5)運営管理の方針

利用者の満足度を高め、多様なニーズに応えるため、利用者の声を参考にし、反映できるものは積極的に取り入れる。

水広公園の特長である自然環境や、ふれあいゾーンの自然生態園、野鳥の観察舎、魚釣り場等の施設を生かした、自然観察や環境学習などの公園利用の促進を目指す。

(6) 連携・協働の方針

地域住民や市民団体などとの連携を進め、地域に根ざした公園を目指す。

現在、水広公園で活動している愛護会などのボランティア団体のほか、新たな団体、市民等との連携・協働の継続・充実を図り、公園をボランティアや市民のコミュニティの場（地域のオアシス・活動拠点）として活用する。

(7) 改修・再整備の方針

公園の安全・魅力向上のために必要な場合は、改修・再整備を行う。現況の施設の更新を検討するだけでなく、現場のニーズ・維持管理等を分析し、ゾーニングによるテーマ・コンセプトを生かしつつも、新たな方向性（廃止・別の施設に更新等）を検討する。

(8) 災害対応の方針

「震災に強いまちづくり方針～名古屋市防災都市づくり計画～」に基づき、広域避難地としての機能を確保する。

今後、広域避難場所に指定された場合、「名古屋市地域防災計画」に基づき広域避難場所としての機能を確保する。